



アストロラマ No. 91

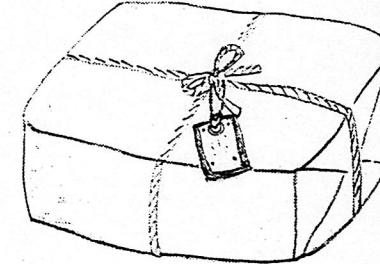


発行者 桑原由紀子 630-01 生駒市上町9-12 ☎07437-8-1969

1995.3.20

阪神大震災から2ヶ月、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

ここ奈良でも震度4の揺れ、はじめての恐ろしい体験でした。アストロラマ読者のなかには、神戸や西宮など被災地にお住まいの方がたくさんいらっしゃるので、こころ痛むばかりです。厳しかった寒さも毎日にもやわらぎ、復興に向けての希望もみえてきたいま、皆様の健康と一日も早くもとの暮らしに戻ることをお祈りします。



そしていま、私にできることといったら、こうして励ましのお便りを書くことくらいです。皆様のこと、きっとみんな心配しています。気持ちはみんなつながっていると思います。もって行き場のない悔しさ、ぶつけようのない悲しみ、アストロラマをそんな気持ちの捨て場にしてください。どんな言葉で被災された皆様を元気づけていいのか、わかりません。こんなつたないアストロラマが少しでも、皆様を勇気づけることに役立つことを願って91号を発行することにしました。

日本万国博覧会25周年記念同窓会

全体同窓会の幹事をして下さってる神谷さんから、同窓会とその準備の案内が届きました。準備を手伝って下さる各館の世話人あてに出されたもので、皆様のお手元には、今後幹事の皆様のボランティア作業によって案内状が発送されます。

案内状は約5000通にもなるとか、封筒に入れたり、宛名を書いたりの準備が大変だと思います。そこでアストロラマ読者の皆様に一足先に同窓会のニュースをお知らせしてお手伝いのほうもお願いできたら嬉しく思います。

同窓会は5月20日(土)万国博迎賓館にて
当日のお手伝いは午前10:00から

3月12日(日)は みどり館から末松具子さん、
(第1回準備委員会)
藤村容子さん、
奈良から村田弘子さん、
坂上栄子さん、
が行ってくださいました。

ボランティアのお願い

4月8日(土)・4月9日(日)

案内状宛名書き、発送作業

参加できる方は、神谷省次さんまで連絡します。

☎ 06-876-5009 です。

みんなでつくる同窓会、いろんなところで楽しもう！！

桜の日の集い

お知らせついでにもう一つ。私の大好きな美保さんこと杉原美保子さん(読者の中にも美保さんファンはいっぱいですが)が、

――新しい本の出版に感謝して――

人生・40才からのスタート 記

と題して、左記のとおり
桜の日の集いを開きます。

日時 4月8日(土)午後1時半～3時半

場所 津田ホールT105室(03-3402-1851)

会費 2,000円(講義代、料金)

美保さん、おめでとうございます。とっても嬉しいニュースでした。

要予約・問い合わせ先
0474-61-1373(杉原美保子まで)

91号の原稿が出来上がったところに美保さんから電話。

4月16日(日)「美保さんと歩こう会」決定。幹事さん急募・07437-8-1969(顛まで)

楽しいお茶会

呉服屋さんに勧めはじめて、今まで以上に大好きな着物を着る機会が増えてきた。そんな私に感化されてかどうかわからないけど、我が家家の陽気な下宿人こと直ちゃんも大の着物好き。

お茶を習い始めて半年の彼女いわく
「ともだち集めてお茶会をしよう。！」

とは言っても、道具はないし、お茶をチヤンとやっている人もいない。そこは知らないモンの強み、まづ茶道具を借りてくるところから始まった前代未聞のお茶会。

お雛さまの前でお湯のわく音、衣づれのあと、BGMには邦楽アンサンブル彩の演奏（テープだけ）と舞台装置はバッタリなのに、神妙にお点前をしている直ちゃんのまわりで外野すずめのうるさいこと。

「お湯こぼさないでね。」

「お茶わん何回まわすの？」

「どうしてまわすの？」・・・

トレイシーははじめて日本のきものを着て大喜び。マティューもお茶はノーサンキュウだったけど、この雰囲気はたのしそう。子どもたちは少しおすましして、緊張したひととき。

「お茶っていいもんだなあ」

「きものっていいな」

「日本っていいな」

「またお茶会しようね。」などなど

ほんのささやかなお茶会で、それぞれがこんなことを感じた一日でした。

(ゆっこ)

会計報告

摘要	収入	支出	残高
95.1.1 繙越			▲4,222
〃 コピー代(90号)		2,400	▲6,622
送料 (〃)		9,600	▲16,222
1.4 カンパ	2,000		▲14,222
2.5 〃	2,000		▲12,222
2.11 〃	3,000		▲9,222
3.10 〃	2,000		▲7,222

皆様からのカンパ有難うございました。

やすらぎの場 『縄庵』 (じょうあん)

邦楽アンサンブル彩のコンサート“光彩”の度にプログラムやチラシの印刷でお世話になっている友人がすばらしい家を新築した。

場所は生駒山の中腹、なんとアストロラマ読者である坂上栄子さんちのお隣。

縄文時代の縦穴式住居をイメージして創られたという家は、ある有名な建築家の設計によるものだそうで、建築家の夢、施主の夢、それに見合った場所と3拍子そろってできたという。

「縄庵」と名付けられた建物、器が良いのはいうまでもなく、住んでいるご夫妻がまたすばらしくてここに書きたくなった次第です。

お二人はこの場所を自分たちだけでなく、いろんな人たちとの出会いの場、交流の場やすらぎの場にしたいと開放されています。

新築パーティでは邦楽アンサンブル彩で演奏させていただきました。4月にはギターコンサートを企画とか・・・

すてきなお友達はすぐ誰かに紹介したくなる私は、早速「京ろまん」の社長にも紹介。社長もこのご夫婦と「縄庵」のすばらしさに大感激。このステキな空間と大好きな着物をひとつにつなげることはできないものかとただ今思案中といったところ。

「京ろまん」といえば、入社のきっかけとなった「きもの通信」。あまりの忙しさにストップしたままだったのが、4月の新店舗オープンに合わせて気合いを入れなおして発行することになった。

すっかり「アストロラマ」のファンになった社長、もともと書くことの好きな社長だから、今度は「アストロラマ」が刺激剤になったのかも。

そうは言っても、今まで以上に忙しい社長、なかなか通信にまで手が回らない。そこで私のほうに仕事がまわってきた。

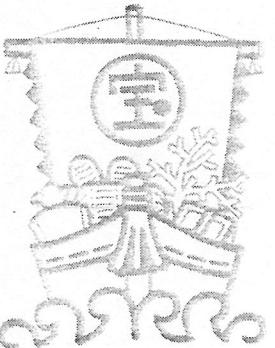
「きもの通信」の発行や企画の仕事はおもしろそうだが、毎月となると結構忙しくなりそう。

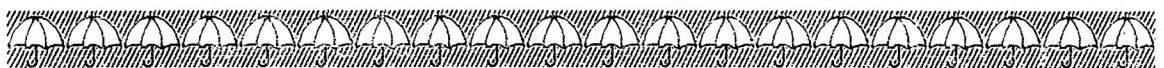
「京ろまん」をもっともっと大きくすることを夢見て通信が出せたらいいなと思っている。

美保さんや「世論時報」の河田さん、書くことを専門にしている皆様、読ませていただく度に文章のうまさに感心しています。

アドバイスをよろしくお願ひします。

「縄庵」の話からいつのまにやら仕事の話に、こんなまとまりのない文章になってしまった。お店の帳場、きもの通信、アストロラマ、お琴、日本語教室、子育て・・・みんな楽しい私の時間。こんな中からいろいろ書いていきます。じゃ次号をお楽しみに。





アストロラマ No. 92



発行者 桑原由紀子 630-01 生駒市上町9-12 ☎07437-8-1969

1995. 5. 25



日本で初めて開催された万博...
それが1970年、「人類の進歩と調和」
のテーマのもと、世界76ヶ国が参加して
開かれた大阪万博でした。

とにかく前例がないわけだから、何もかも
初めてづくり。開催までには、いろんな
苦労があったようです。そんな苦労を乗
り越えて大成功に終わった万博から25年
経った1995年5月20日(土)、懐か

しい千里の万博会場、迎賓館で「25周年記念同窓会」が開かれました。

世話人代表の今枝信雄さま、神谷省次さまはじめ、たくさんの方々のお力添えとご協力
で開催されるこの同窓会も今世紀では、これが最後とか、800人以上の参加者だったと
聞いております。

我がみどり館からの出席者は、男性は、いつまでも若々しい吉本邦晴さん、
ますますお元気な武上善明さんのお二

人。女性は、東京から

堀美知代さん、岡本恵子さん、岩間順子さん、その他
寺岡千秋さん、渡瀬厚子さん、田中照美さん、
宮島尚子さん、二宮芳子さん、末松具子さん、
岩崎ミチ子さん、片上則子さん、神山麗子さん、
山崎信子さん、林恵子さん、宮本美智子さんと
私の18名でした。

何年空白の時があっても、会ったときに当時に戻れる安心?そんな雰囲気のある
同窓会です。

私にとってはまた、第一回の同窓会で実行委員会に参加させていただいて仲良くなつた
数多くの他パビリオンの方たちとの再会も楽しみのひとつとなっています。みんな
このアストロラマを通じて10年以上のお付き合いをさせていただく中で、励まされたり
刺激されたり、本当に有り難いお友達ばかりです。

以前、仕事があれば日本にきて私の家にホームステイしたいと言っていたロシアの
サブリナさんにお会いできたのも大きな喜びでした。彼女は現在モスクワ大学で
日本語を教えていたとか、日本語ペラペラのすてきな美女でした。

紹介してくださった、元ソ連館コンパニオンの木村嘉子さん、有難うございました。

そして私の顔を見たとたんに、アストロラマを思い出してたくさんのカンパを下さった
皆様、本当に有難うございました。

こうして皆様のお陰でつづいていくアストロラマ。はじめのニュースは同窓会の報告で
した。

摘要	会計報告		残高
	収入	支出	
95.3.10 " 4/5.4/16.5/20	繰越 コピー、翻 カンパ	41,320	12,000
	∞ ∞	∞ ∞	▲ 7,222 ▲ 19,222 22,098

新しい下宿人

二階の下宿人、直ちゃんの部屋に新しい下宿人が入ることになつた。ということは、直ちゃんはしばらく実家へご帰還。

ドイツ人、メヒティードは青木千里さんや、前に
いたペーターたちと同じATRで研究していた言語学博士で
今は、スウェーデンのルンド大学で言語学、音声学を研究して
いるという。

この度、スウェーデンからの奨学金で日本に来ることになつ
たそうで、千里さんから

「お部屋、空いてないかしら」ってことに...

なんと、彼女はドイツ語・フランス語・英語・日本語・スウェーデン語の五か国語が話
せるという秀才。言葉の問題はまったく無し。

英語もろくにしゃべれない私にはどうやって五か国語も喋れるようになるのか不思議で
たまらない。そんな疑問をメヒティードに聞いてみると答えは、

音楽のように覚えるんだそうで、音声学者らしい返事だった。

夕食は西洋風と和風の味付けがテーブルに並び、楽しみが2倍に。

音楽好きな彼女は、琴や三絃にも興味をもってさわっている。特に三絃が面白いいらしく
、もう少し時間があればゆっくり習いたいのにと短すぎる滞在を残念がっている。

トレイシーやマティューとともにワインパーティーを楽しんだり、邦楽の演奏会に
招待したり、滞在中たくさんの思い出をプレゼントします。



美保さんと歩こう会

久しぶりの「美保さんと歩こう会」は、桜も見頃の4月16日、生憎の雨模様だったが、参加者に連絡の取りようもなく、時間通りに桜井駅へ。と言ってもついたのは私がいちばん最後でみんなを30分も待たせてしまったけれど・・・

今回の参加者は何年か前に美保さんとの出会いを作ってくださった宮脇幸江さん、東京から朝一番で駆けつけてくれた宮木宏之さん、わが家の下宿人こと林直子ちゃん、ガイド役をお願いした宮本敬生さん、そして私と沙代子の総勢7人。

今回のコースは多武峰から石舞台コース、桜井駅からバスで談山神社へ。バスを降りたとたんにかなり強い雨になり、ひとまず休憩所でお弁当を広げることにした。初参加の直ちゃん、宮本さんもすぐに打ち解けて、賑やかに昼食。このあたりは少し高いところで、桜がちょうど満開。

雨が上がると澄んだ山の空気と桜と珍しい十三重の塔がとても美しい。写真好きの宮本さん、宮木さんはあちこちパチリパチリ。

折しも大化革新千三百五十年祭でお茶席があり、心静かにお茶をいただき、談山神社を後にした。結構急な山道を下ってのどかな風景を眺めながら飛鳥の石舞台まで歩きそこでひと休み。その後、飛鳥寺まで歩いてそこからバスで橿原神宮前駅へ。時間は4時すぎ、このまま別れるには名残惜しくて結局私の家まで帰って「うどんすき」をつきながらハイキングの二次会?

美保さんも宮木さんも奈良が好き!次の歩こう会も奈良がいいななんて嬉しいことを。お二人からいっぱいの元気の素をもらったような一日でした。

美保さんの本紹介

世論時報社から美保さんの新しい本が出版されました。

『ポーリー・スクリーバ～日本を愛したアメリカンウーマン』



50年前、空襲のため廃墟となった町に戻った日本人の中に、ひとりのアメリカ人女性がいた。その人の名をポーリー・スクリーバと言った。

この本は、美保さんとポーリーさんの心温まる交流、彼女の素敵なお生き方を紹介した本です。

あなたも読んで見ませんか? 定価=1,300円(税込310円)です。

本の申し込みは 杉原 美保子(0474-61-1373)まで

地震を体験して

宮脇 幸江

今、私は一ヵ月半の避難生活を終えて西宮のマンションから会社に行っている。地震からすでに二ヵ月以上も過ぎているが、私の住んでいる周辺の阪急門戸厄神から西宮北口までは、まだまだその当時のまま。

それでも少しづつ倒壊した家々を解体していくのか、大小のユンボ機が置き去りにされているのが朝の電車の窓から見える。

もちろん、外出時にはいつでもマスクを着用している。がもっと安全で丈夫な防断マスクの人も見かける。

国道171号線と阪急の今津線が立体交差していたが、今では国道は門戸厄神駅の近くで寸断されており、そのあたり一帯は、車があふれている。

地震はなるほど天災。でも自然を破壊するのは人間。

避難中の大阪の銭湯で近所のお母さんが、

「あんまり人間が好き勝手なことばかりするでしょう。」

「自然破戒ね。」

「勝手に海に橋を架けたり、ダムを造るかと思えば今度は川を埋めるでしょう。」

「うーん。でもそれで世の中が進んだし、日本もお金持ちになったのよ。」

「ようわからんけど、私は自然の神さんがほらみーと言うてはると思うんや。」と、説得力のある言い方をされると本当かも知れない。

今まで生きることと死ぬことは天と地ほどの隔たりに思っていたのが、そうではなく案外近い距離だと考えるようになった。

本当にそう思うようになった。

また、電気や水道、ガスが使えて当然と考えたり、会社で働きお給料をもらって当たり前と思っていたが、やはり感謝しなければいけない。

被災地では、仕事がなくなったり、一時待機の人たちも多いと聞くと胸がいたい。

私の弟は、「増改築の自営業」をしているが、地震で今までのお客さんからは、「早く手直しをしてほしい。」と電話がかかる。

でも今まで一緒に仕事をしていた大工さんは家が半壊していたり、奥さんが病気だったりで、いつこうに仕事ははかどらず。仕事はあるが大工さんがいないので出来ない状態。どなたか、「小回りのきくひとり大工さん」をご存じであれば

0798-63-7233まで夜にお電話をお願いします。

～～～

宮脇幸江さんからのお便りでした。

このところ、世の中オウム一色になって、地震の被災地のニュースが薄れてきたように思います。

実際にはまだたくさんの方が避難生活を余儀なくされていると言うのにね・・

仕事も住まいも一日も早く、元通りになるよう、また精神的にも少しでも癒されることを願って92号をお届けします。



アストロラマNo. 93



発行者 桑原由紀子 630-01 生駒市上町9-12 ☎07437-8-1969

1995. 7. 25

地震で始まり、サリンだ、洪水だと大変なニュースばかりが続いて、今年も半分が終わりましたね。

祇園まつりが終わり、子供たちの夏休みがはじまりました。皆様、その後いかがお過ごしでしょうか？

京都の祇園まつり・・・いつもテレビでしか見たことがなかったのですが、今年はこの時期に京都できものの展示販売会があり、この暑い中、きものを着て5日間京都に通いました。そして何とあの有名な鉢の実物を見て感激。その上鉢に乗せてもらうというおまけつき。蒸し暑い京都が、数十万という人で埋め尽くされた中、汗を流しながらしばし、まつりの雰囲気を味わってきました。

こんな私もいろんな失敗で落ち込んだり、また周りの友人の助けを借りて、泣いたり笑ったりの日々を送っております。

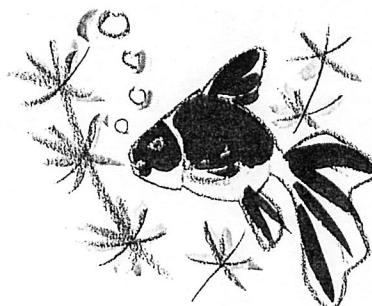
そんなさまざまな出来事を思いのままに書いてみます。

退社さわぎ

朝のNHK連続ドラマ「春よこい」を仕事に出る前に時計代わりに見ている。脚本家橋田壽賀子の自伝だそうで、何度も挫折を繰り返し、そのたびに起き上がって強くたくましく生きていく・・・そんな話に私自身も力づけられる思いで見ている。

先日、連続ドラマの脚本を書くという仕事がうまくいき始めた矢先に、局と対立して仕事をやめてしまった場面があった。結果はまた大好きな仕事に戻るわけだけど。この場面もおおいに勇気づけられた。というのは、私自身を見ているような場面だったから・・・

ちょっとしたことで「会社やめます。」と言って飛び出したわたし。我ながらちょっと



短気だなって思ったけれど。2週間の『退社期間』は自分を反省するいい機会に。

私のまわりのやさしい友達は、毎日のように顔をみせて、叱るでもなく、励ますでもなく、ただ黙って私の話を聞いてくれた。

こんな心暖かい人たちに囲まれて自分の心の冷たさが浮き彫りにされたみたいだった。もっとやさしく暖かくなろう、相手を思いやれる人になろう。そう思えたとき素直に「ごめんなさい」が言えた。

社長はじめ仕事仲間もみんなやさしかった。再び職場に戻って、大好きなきものに囲まれて仕事をしている。



出会いの場『縄庵』

91号で紹介した「縄庵」（じょうあん）、今では私の大好きな場所になっている。京ろまんの社長の希望通り、きものファンの集いも実現したし、シンセサイザー奏者、矢吹紫帆さんとの出会いもあった。彼女は「10万人とふれあうコンサート」と題して北海道から九州まで各地でコンサートを開催しているミュージシャン。その日はわたしの弾くお琴に即興でピアノ伴奏をつけていただきたり、ご主人の楽器のような喉でスキヤットを聴かせていただけたり・・・縄庵でのシンセサイザーコンサートもその内、実現しそうです。

どんな音楽にもマッチする「縄庵」では「不思議料理と不思議音楽」と題して、ポルトガルギターとマンドリンのデュオ、<マリオネット>のコンサートも開かれました。<マリオネット>のお二人は、ポルトガルギター奏者の湯浅隆さんとマンドリン奏者の吉田剛さん。

こんな素敵な時を一人で楽しんではもったいない。感動を語り合える人が欲しいと坂上栄子さんをお説きした。栄子さんも同じ思いだったのか、万博仲間の木村嘉子さんに声をかけて下さって、栄子さんご家族、木村さんご夫妻とともにすばらしいコンサートを楽しむことができました。

幻想的な空間で、哀しいような、なつかしいようなポルトガルギターの響き、そしてテーブルには、見たことも味わったこともない文字どおり不思議料理がならび、おまけにおいしいお酒も。もう言うことなしの大満足。

お二人のCDを買って、しっかりサインももらって、あのすばらしいひとときを思い出しながら聴いている。

昔、わたしが〇〇だったころ・・・

「芸能新報」という新聞を毎月読んでいる。邦楽界おもに三絃、琴、尺八で活躍している方々を紹介している新聞で、「邦楽アンサンブル彩（AYA）」の記事も時々載せていただいている。

この新聞社の編集長である、前田和男先生主催のコンサートに「邦楽アンサンブル彩」も出演させていただいた。

邦楽の普及を願って力をそがれている先生だけに、各地で一生懸命頑張っている小グループ、なかなか発表の場が持てない邦楽グループのために、大きな舞台で日頃の成果を思う存分発表してほしいという主旨で開いて下さったコンサートでした。

奈良を中心に活動している「邦楽アンサンブル彩」にとっても大阪の舞台というのは、費用の面からもなかなか手が出なかったところで、こんな機会を作つて下さった前田先生に感謝している次第です。

このコンサートは、狭い邦楽界で、そして大阪でということで、私自身にとっても新しい試練の場でした。

昔、わたしがはじめの独身だった頃、習っていたお琴の先生との再会がありました。

もう忘れてしまったような出来事で気まずい仲になり20年位音沙汰なしの状態のあと の再会。ただ懐かしいだけでお話できたことは嬉しかった。

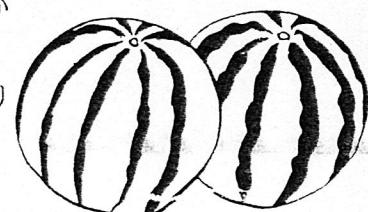
今のようにお琴が手放せなくなったのは、はじめて手ほどきから教えていただいた四国の先生（もう亡くなられたけど）と、次に習ったこの先生のお陰と思っている。「上手、下手よりも一生、お琴と仲良くしていいって欲しい」という先生の思いを受けてますます楽しんでお琴を弾いていたいと思う次第です。

そして「いい生き方をしてますね。」の一言も、嬉しいことばでした。

また一方、昔、わたしが桑原仙山夫人だった頃、お世話になった琴、尺八の先生方との再会もあった。今までわたしはそんな方々の前から、ひつそり隠れていたい心境でしたが前田和男先生の熱いエール「前を向いて生きていく為にも、隠れてないで胸張って、自分から近付いていきなさい」のことばに勇気づけられ、皆様に声をかけることができました

みんな、暖かい気持ちで、今の私を応援して下さつてることがわかり、本当にどなたとも嬉しい再会となりました。

今回のコンサートは気持ち新たに出発するいいチャンスになりこんな機会をつくって下さった、前田和男先生に改めて感謝の気持ちでいっぱいです。



おしゃれNo. 1セミナー

京ろまんの社長は、だれもが認めるアイデアマン。このセミナーも社長の発想から。第1回目がカラーアナリスト桶村久美子さんを迎えて「あなたのベストカラー教えます」第2回目が宝石鑑定士 神林敏夫さんを迎えて「よい宝石、悪い宝石の見分け方」。

社員教育の一環にと思いついたこのセミナー、社員だけで聞くのはもったいないと毎回希望者を募つて開いている。

女性にとって興味のあることばかり、お客様にも喜んでいただいているのをみると、確実に京ろまんのファンが増えているのではと思う。

この1回目の講師、桶村久美子さんは、なんとサウジアラビア館のコンパニオンだったそうで、同じ万博仲間だったのかと思うと余計に親しみを感じました。

同世代の仲間がステキに活躍している姿に嬉しくなった。こんな話を京ろまんの「きもの通信」に書いたところ、それを読んだ木田弘子さんから、

『桶チャンとは大の親友なのよ』

と聞いてまたまたびっくり。人の縁はいろんなところでつながっているようです。

会計トヨ報告

	適用	収入	支出	残高
95.5.25	繰越			22,098
"	コピーレイ (92号)		2,600	18,498
"	送料		10,800	7,698

~~~~~

この夏休み、子供と二人でドイツのペーターを訪問しようと計画、パスポートも取つて準備しているのに肝心な航空券が取れない。

その上一年中でもっとも高い時期ときている。

私にとっては、海外に行くのは大変なことです。

ま、夢はあきらめないで、叶うことを祈るのみ。

9月には、2階にATRの研究員が入る予定。

10月は恒例となった光彩コンサートと続きます。では次号をお楽しみに！





## アストロラマ No. 94



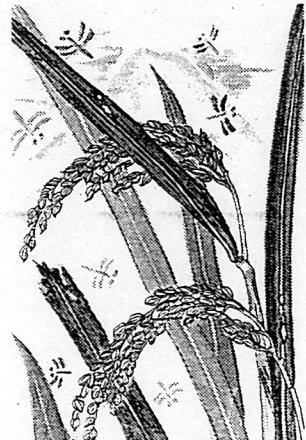
発行者 桑原由紀子 630-01 生駒市上町9-12 ☎07437-8-1969

1995.9.25

メチャ暑かった夏も過ぎ、確実に秋がやってきました。家のまわりでは夜毎、虫たちの大合唱です。こうしてのどかな暮らしの一方で、フランスは全世界の反対を押し切って核実験をやり、ニュージーランドからきているトレイシーもカンカンに怒っている。本当にこれだけ沢山の人たちの願いがなぜ届かないのか不思議でたまらない。

### 夢が叶った！！

三年前、ペーター・アンネット夫妻と一緒に暮らし、ズィーモンが生まれ、彼らのお母さんに「きっとドイツに行くからね」と言ったものの、私にとっては夢のまた夢だった。その夢が叶った全く夢のような話です。



ドイツまで飛ぶのに一体いくら位かかるのかもわからないままドイツへ行こうと決心した。そして、親子それぞれのパスポートを取り、さて旅行会社へ行ってびっくり。民族の大移動かと思われるお盆の時期、航空会社も抜け目なく普段の2倍近い運賃。ちょっと高すぎて手が出ない。友達やら知り合いに頼んでもどことも似たり寄ったり。もうこの時期あきらめる他ないと思い、ペーターにその旨書いてFAX。そんなとき別の友人からTEL、思いがけなく格安チケットを手にすることができる、思い切って飛びたった次第

8月7日、沙代子とふたりで不安と期待を胸に伊丹から成田経由でフランクフルトへ。空港では、ペーターの両親、従兄に伯父さんとみんなで迎えて下さった。お母さんと従兄のマイケルとは3年振りの懐かしい再会だった。英語がわかるマイケルのお陰で言葉は全く問題なしだった。

空港からアウトバーンを北に1時間半ほど走ってオルプというきれいな街に着いた。ペーターのふるさと、両親の家で3日間滞在。

ケルンの大聖堂、ライン川下り、巨大な鍾乳洞や古城を見て美しいドイツを満喫。どこを見てもため息が出るほど美しい。古い教会や建物、街全体がゆったりしていて日本の観光地巡りとは一味違う雰囲気だった。

オルプでの滞在のあとは、いよいよペーター達の住んでるフライブルクへ。ペーターのパパの運転で快適なドライブ。途中、ハイデルベルクに寄って古い街を見物。古城あり教会あり、どの建物にも窓辺にはきれいに花が咲いていた。

どこに行っても、花の美しさには住む人の優しさみたいなものを感じ、ホッとするものがあった。

フライブルクもとても美しい街だった。ここは美保さんの本にも出ていたところで、街を歩きながら、美保さんもここを歩いたのかななんて思いました。

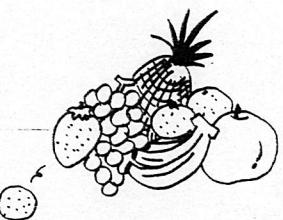
沙代子と同じ産院で生まれたズィーモンは2才3ヶ月、立派にドイツ語をしゃべっていた。二人はすぐ仲良しに・・・

かわいいベビーベッドには三週間前に生まれた女の子ハナ(Hanna)が、そして産後の手伝いにみえてたアンネットのお母さんにも会えたし、もう実家に戻ったみたいな気楽さだった。

週末にはドナウ川のほとりウルムという街に行き、ペーターの友達の結婚式、披露宴に出席させていただき、すてきなひとときを過ごした。ペーターの計らいで私たちの席には漢字で書かれたネームプレートが置いてあり、これには驚くやら感激するやら・・・肩の凝らない楽しい披露宴だった。

ドイツでの食事もまた楽しいものだった。街の古いレストランで、古城を眺めながら木陰のテーブルで、8時9時になんとも明るい庭でガーデンパーティー、家でもいつもレストランのようなテーブルセッティングに目を見張った。ドイツの主婦はスゴイ！と思った。広い住まいをステキに飾り、料理に育児に仕事に、なのにちっとも忙しそうに見えない。さして広くない我が家が片付かないのは、家事能力に欠けるのか時間が使い方が下手なのか・・・しばしドイツの暮らしぶりをみてため息が出た。

楽しい日々はあっという間に過ぎて、いよいよ日本に帰る日、フライブルクからフランクフルトまでは沙代子と二人で新幹線の旅。ドイツで初めて二人きりになり、チョッピリ不安だったけど案ずるより何とか・・・列車の中では隣の女性とすぐ仲良くなつてお喋りしてた間にフランクフルトに着いた。そして成田から関空へ、ラッキーだったドイツ旅行実現の巻でした。 蟻子



## アストロラマカメラは何処に？

アストロラマNo. 92で登場した、**宮本敬生**さん、その節は、「美保さんと歩こう会」で談山神社・飛鳥コースのガイド役をして下さったのですが、それ以来大の仲良しになって今ではアストロラマの大ファン。徹夜？で1号から読んでくれて感謝感激。

彼は写真を撮るのが大好きでときどき「写真で食つていけたらなあ」と夢を語ってくれます。そして興味を持ったのがアストロラマを撮った巨大なカメラ。

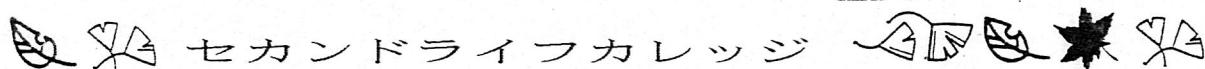
「このカメラは今どこにあるんだろ？」

「見ることできないやろか」

「誰かに聞いてみて」

こんなふうだから、秋山さんの「アストロラマサイドストーリー」はとりわけ興味深々。撮影の苦労話はとても面白かったらしく、益々アストロラマ（全天全周映画）がどんなものだったのか、知りたくなったようです。

万博には行ったそうだけど、3才ではなにも覚えていないですね。どなたかカメラの行方をご存知のかた、彼に教えて下されば嬉しいな・・・とこんな記事を書いて欲しいと言うものだから よろしくお願ひします。



大好きな美保さんから、セカンドライフカレッジの受講案内が届いた。いつもエネルギー溌溂とした美保さんは、脱帽。講師陣には美保さんはじめ、宮木宏之さん、青木千里さん、河田さんなど魅力的な方ばかり。テーマも惹かれるものばかり。少し遠いのが残念。

読者にとっても、刺激になりそうなこのカレッジを簡単に紹介したいと思います。

会場・・・船橋市女性センター 〒273 千葉県船橋市宮本2-1-4  
TEL 0474-23-0757 FAX 0474-23-3007

受講料・・・1回1,000円（年間4,000円）

申し込み方法・・・往復はがきに住所、氏名、生年月日を記入の上、  
セカンドライフカレッジ宛てに送ります。

申込先・・・〒274 千葉県船橋市芝山1-40-6-506  
セカンドライフカレッジ 代表 杉原 美保子

まずは10月8日（日）学び続ける楽しさ・・・杉原美保子（セカンドライフ代表）  
1時～4時まで 教えることから気づくこと・・・三宅一住（ワシナシ事東京支店長）  
セカンドライフ・フォーラム など

詳しくは 0474-61-1373（櫻井）までお問い合わせ下さい。

## 震災レポート その二

宮脇ゆきえ

震災から早8カ月。車窓から見えていた西宮北口駅周辺の壊れた家並も五月のゴールデンウイークの間にきれいに取り壊された。

更地になったかと思うとプレハブの商店が建ち並んだ。近くでは「たたみや」と「魚屋さん」の二軒だけ開いているのが電車から見えている。もうちょっと遠くをみると、その店先には赤と水色の島柄の「ちょうちん」がゆれていた。仮設の自転車置場をいつも片付けている老婦人。自転車でまわりながら道行く人々に声をかけている若い奥さん。やたらと元気のいい女性が目に入る。

先日、仮設住宅に73才で半身不随で一人暮らしの女性を訪問した。

彼女とは4カ月の付き合いである。彼女は40才ごろ脳梗塞で倒れてからずーっと不自由な生活をしている。遅くに結婚したが子供には恵まれなかった。

「昨日ね、西宮の福祉社会館で仮設の年寄りや若い人が集まって話あったんだよ。」

「へー、それは良かったね。」

「私は声を掛けられたら外へ出て行くようとするんだよ。」

「そのほうがいいわ」

その話し合いで、年寄りは仮設に住んで有り難いと思うが、若い人は文句を言うと言ったある80才を越えた女性がこう言ったそうだ。

「私は大きな家に住んでいて被災しました。いったんは仮設に入りますが、一日も早く元の場所に家を建てて帰りたい。と思っていましたが、今は考えが変わりました。仮設から外へ出ると海が見えるし、仮設はみな同じなので気軽に誰にでも声が掛けられるし、こんないいところはない。」

これを聞いてKさんは切り替えのよい人、すばらしいと思った。

私も何だか楽しい気分になった。

~~~~~

会計報告

	適用	収入	支出	残高
95.7.25	繰越			7,698
"	コピー代(93号)		2,600	5,098
"	送料		9,600	▲4,502
7.28/8.19	カンパ (4名様から)	20,000		15,498
	カンパ (群で)	6,400円		

~~~~~

いつもたくさんの方にご迷惑をおかけして申し訳ありません。では次号をお楽しみに！



# アストロラマ No. 95



発行者 桑原由紀子 630-01 生駒市上町9-12

☎07437-8-1969

1996. 1. 20

遅ればせながら、あけましておめでとうございます。  
激動の1年と言わたる95年が過ぎて、新しい年の始まり。  
私たちもお陰さまで、元気で平和な新年を迎えることができました。昨年九月に94号を出して以来、仕事に琴にと相変わらずの忙しさで、アストロラマも書く暇がなかったような・・・いや、ネタがなかったのかな・・・

とにかく「光彩V」も無事終わり、年末には琴好きを集めての「邦楽の輪を広げるコンサート」第6回目をやり、95年の予定を完了した次第です。

さて、今年の弾き初めは、1月6日奈良県新公会堂において、「わかくさ能」の前座?能を見にきたお客様のために、ロビーコンサートで幕開けです。

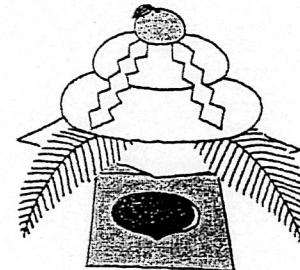
ここには、以前神戸でお世話になった生け花インターナショナルの方が、坂上栄子さんと来て下さって、彩の演奏をしっかりと聴いて下さいました。

また、1月は毎週水曜日、大阪ガスビルのパオパークでのランチタイムコンサートもやらせていただいてます。

27日には、「京ろまん」主催のパーティー(於 奈良ホテル)にも、弾かせていただく予定です。

こんな調子で邦楽アンサンブル彩も大活躍。腕がついていかないのが、チョッピリ心配です。まだまだ先の話と気を抜いているうちに、目前になってあわてふためくのはいつものこと、今年こそはと秋のコンサート「光彩VI」に向けての計画や練習もボチボチ始めているところです。

今年は地元、生駒市のコミュニティセンターで開催の予定。心待ちにして下さるお客さまも増えて、有り難いやら嬉しいやら。



## パソコン通信

ウインドウズ95旋風が吹き抜けた昨年以来、パソコンの売れ行きは益々のびる一方だとか・・・そんな波に乗せられてというわけでもないけれど、いまパソコン通信やってみたいなと思っている。



昨年の春だったか、甲南女子大学の上田先生のユニークな授業に参加させていただいた。先生は「人間工学」を教えていらっしゃる。その時のテーマは、「楽しいパーティーを企画する」ということで、場所は吉野にある上田先生のスタジオ付き別荘。参加者は上田ゼミの学生や岡山大でグラフィックデザインの勉強をしている学生や各方面で活躍していらっしゃる先生の知人友人たち。圧倒的に学生が多いので、若いパワーがあふれんばかり。楽しませていただくパーティーではなくて、参加することによって自ら楽しむようにそれぞれアイデアが出されていた。音楽あり、踊りあり、研究発表あり、もちろん一品持ち寄りの食事もあり、一日たっぷり使ったイベントに驚きの連続。学生と話をする機会などほとんどない私にとって新鮮な一日だった。

その時に初めて耳にした言葉が「インターネット」や「ビデオジャーナリスト」だった実際に映像で見せてもらったり、できる限り分かりやすく説明してもらったりとも関わらず、耳慣れないカタカナがポンポン出て、自分にはほど遠い世界のことと思っていた。

それが今や恐る恐る入り口を覗いている自分がいる。

知らない世界を知る楽しみ・・・今年はそんなことを味わってみたいと思っている。

## 会計報告

|         | 摘要   | 収入     | 支出      | 残高      |
|---------|------|--------|---------|---------|
| 95.9.25 | 繰越   |        |         | 15, 498 |
|         | コピー代 |        | 2, 600  | 12, 898 |
|         | 送料   |        | 10, 160 | 2, 738  |
| 11.9    | カンパ  | 2, 000 |         | 4, 738  |

いつもカンパを有難うございます。

阪神大震災から1年、被災された皆様にとって、言葉では言い表わせないような  
苛酷な日々だったことだと思います。

仮設住宅での孤独死のニュースを見るたびに、私たちの想像を絶する苦しみや切なさを  
味わっておられるのではないかと、悲しくなってきます。

一方では、そんなニュースに心を突き動かされ、体が自然に動きだしたという方も  
おられるのじゃないかと思います。そんな中で、宮脇ゆきえさんからお便りをいただきました。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

## 震災から多くのことを学んだ私

宮脇 ゆきえ

震災直後のボランティアたちのあの勢いで、ボランティアをすることってどんなことなのか。直接体験してみようと思い立ち、始めてみた。

ボランティアをする内に、なにも震災だけではないはず。でもまず仮設訪問。次に  
環境問題。そして国際交流とやってみる。

今、一番時間をかけているのが、国際交流。気が付けば、国際交流ボランティアにどっぷりと浸かっている。西宮市の国際ボランティア会員の一人である。市の主催による「フランス人研修生と話す会」があった。この会はフランス語でも日本語でもどちらでもよい、と書いてあったので、日本語で話をしようと出かけた。

この日はフランスからきているステファニーと彼女の弟で16才の高校生がきていた。  
まず彼女の弟がフランスの高校生活について話をして、後で彼女が日本語に翻訳してはなした。フランスの高校生活は日本と違い勉強するときはするし、遊びやスポーツにも一生懸命なのがわかった。ここで、お姉さんのステファニーと知り合いになる。

「会社見学に来てください。」と誘った。彼女は16才の弟といっしょに見学にきた。  
わたしの会社からの帰りに彼女は

「日本語もだいぶ覚えたし、できたら日本の貿易会社に就職して働きたいの。」と言っていた。

私はNさんの英語クラブに入って勉強しているが、ここで一人のまだ30才前後かと思われる女性に出会った。彼女に

「お仕事は何をしていらっしゃるの？」と尋ねた。  
「前は働いていたんですけど、今はやめているので働いていません。」

「お住まいはどこですか？」  
「東灘に住んでいたんですけど、家はつぶれて今は、避難所にいます。」  
「あら、仮設は当たらないの？」仮設が当たるまで、避難所にいるという。  
「家はご自分の家ですか？」

「はい、両親と3人で住んでいました。今は更地になっているのですが、地震が急に  
きたので、今すぐ家を建てるわけにはいきません。」彼女も両親とも働いていないそうだ  
彼女にあった仕事が思うように見つからないという。

フランスの研修生ステファニーの研修終了パーティーに出かけた。彼女は日本で就職することに決めていたので、あの手この手で搜したと言う。まず、ジャパンタイムズや関西タイムアウトで調べて調べて一つ決めていたが、最終的には西宮市の研修生時代にお世話になったところに落ち着いた。この会社の社長だと紹介してくれた。日本の大学生にしても、今年は超氷河期と言われているときに、よその国から来て、知り合いも作り、地震で全壊したアパートのガラスの中から這い出し、香港の友達の家まで逃げて行った彼女だからできたのかもしれないと思っていたら。

彼女は「フランスだったら当然のことよ。私は子供ではないのよ。自分の将来のことは自分で考え行動するように小さい時から教育されているんだもの。」まだまだ、彼女は20代であるのに、考え方や行動には驚いてしまう。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

宮脇さん、どうも有難う。とても貴重な体験をし、刺激的な毎日を送つていらっしゃる  
ようですね。フランス語の勉強もはじめられたとか、いくつになっても学ぶ心、見習いた  
いです。

人と出会い、心のふれあいを大切に....

大阪のタクシーの運転手さんには、乗ったお客様の印象を短歌にして詠む風流な方  
いるという。私はまだ、そんな運転手さんには出会ったことがないが、京ろまんの研修で  
会ったきもの作家の先生にもそんな素敵なお方が多い。

国兼屋洛楽人（こつけんやらくじん）さんの工房見学を行った。  
紫外線によって色が変わったり、柄が浮き上がったりするすばらしい着物をつくって  
いらっしゃる。先生は初めて出会った私たち、京ろまんの社員ひとりひとりに歌を  
詠んでさらさらと書いてくださった。私の印象を詠んだ歌は

まんかいの もえぎに染めし 川岸に

あの麗しきは すいせんの花か かきつばた でした。

また、奄美のこころ、紬のこころを全国に語り継いでいらっしゃる、女流染色作家の  
南 愛子先生も大好きな一人、愛子先生の好きな言葉も「出会い」だとか、  
素敵なひととの出会いを大事に育てて、心豊かに過ごしたいものです。

# アストロラマ No.96

発行者 桑原由紀子 630-01 生駒市上町9-12 TEL07437-8-1969

1996.6.10

暑いの寒いの、花が咲いたの散ったのと言ひながら時は容赦なく過ぎて今年も半分が終わってしまいました。このところやけに忙しいような、やる気が衰えてきたような・・・そんなわけでアストロラマも随分久しぶりに書いています。皆様にはその後いかがお過ごしでしょうか？

私のほうはお蔭様でふたりとも元気で平凡というか自由気まぐらというか、まあまあ快適に過ごしております。

この1年、学童保育父母会の会長をさせていただき、たくさんの働く親とのつながりもでき、また、子育てについていろいろ勉強させていただいてます。

2年生からお世話になった学童保育も今年で最後。親も子もここで育ったような気がします。子供の健やかな成長を願うのはどの親も同じ、そんな親たちに支えられて成り立っている学童保育、子育ての喜びを共有しながら親の仲良しも深まっています。

## さよならマテュー・トレイシー

2年近く一緒に過ごしたトレイシーたち。大きな夢を持ってニュージーランドへ帰った。トレイシーは一生懸命勉強した日本語を活かせる仕事に、マティューはワインメーカーをめざしている。彼は自分の夢を達成するため、昨年は



トレイシーをここに残して6週間、カナダのぶどう園へでかけて、収穫やワインづくりを体験したり、広告を出してワイン好きをあつめてパーティーをひらいたり、忙しい日々を積極的に暮らしていた。いつもながらここに住む若い人達の行動力には、感心するとともに随分刺激されているように思う。

又いつか、ニュージーランドへ行ける日を夢見て、彼らと過ごした日々を思い出している今日この頃です。

いま、同じ部屋に教育実習生が入居している。

彼女は以前、生駒日本語学習会と一緒にやってた方のお嬢ちゃん。年若い娘を手放す親にしてみれば、私みたいなものでも、他に預けるよりも安心だからと言ってくれる。誰かに頼りにされるって嬉しいものです。そんなわ

けで、我が家にやってきたあやこちゃん。これがまた、かわいくてまぶしくて思わず、自分の22・3才の頃を思い出してしまう。

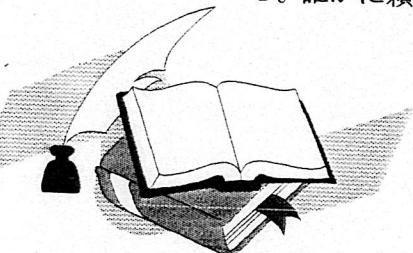
中学校へ実習に行って、毎日新しい体験をしてくるようで、あれが嬉しかった、こんな失敗をしてしまったと、話してくれる。まるで自分のことのようにドキドキしてしまう。登校拒否やら、いじめやら沢山の問題を抱える先生、子供の世界。そんな世界へ一步踏み出そうとしているあやこちゃんを応援したい。そしてうちの子も、明るいあやこちゃんみたいに成長して欲しいものです。

## 万博当時いろいろお世話になったお兄ちゃんのこと

しばらく音信が途絶えていたものの、同窓会だか、この通信だかなにかでご縁が復活して、ときどき昔話しに花が咲くようになった。

もう50近いけど、私にはやっぱり「お兄ちゃん」。このところ、アストロラマが止まっているので心配して電話をくれた。時々こうしてあちこちから、

「だいじょうぶか?」「元気でやってるか?」の電話は、私にとって何よりも有り難い。いろんなところで、あー、気にかけてくれてる人がいるんだと思う



と、またまた「げんきですヨー」とメッセージを送りたくなってしまう。

そのお兄ちゃんから嬉しいニュースが届いた。震災で家も何もかも失ってしまったそうだが、やっと新しい家ができたそうな。本当に言葉では、言えないくらい大変だっただろうなと思う。

そして、「娘の結婚が決まってな・・・」とこちらは嬉しいような、ちょっと淋しいような声にも聞こえたけれど・・・。とにかくこんな嬉しいニュースが飛び込んできた。

自分たちが大変な時でも、時折私達のことを心配してくれる、そんなやさしさにいつもいつも感謝しています。

お兄ちゃん有り難う。そして お め で と う！

### 展示会のこと

今勤めている呉服屋さんでは、年に何回か展示会を開いている。場所は畳敷きの大ホールだったり、有名ホテルを借りたり、問屋さんのビルだったり・・・

もちろんお客様に喜んでいただきたい思いと、買っていただきたい思いで、いろんな企画が打ち出されるわけですが、私にとっての楽しみは何といつても有名な着物作家の先生にじかにお会いできること、お話しできること、とても買うことのできない着物を手に取って見ることなど・・・経営者の心配や、成績に一喜一憂する営業マンを横目に無責任に楽しんでいる。

そんな中でまた、すてきな先生に会えたことに感謝している。

渋谷幸子先生。年は同じ年なのに、もう大先輩。いつも雲の上の人のように遠

くから眺めているだけだったのが、親しくお話しさせていただき、励まして下さって大感激！手持ちのシングルは同じ・・・大変なご苦労があったことと思う。そんな苦労の中からこぼれた言葉を集めた先生の「ことば集」・・・

“生きる・愛する”・・・手のひらにのる小さな本だけど見るたびに大きな勇気を与えてくれる有り難い本です。



右を見ても左を見ても  
自分にどって神様ばかり

仏様も鬼様も棲はみんな自分の心の中

夢は夢で終わったらあかんね・・・などなど

本当にがんばろうね。負けたらあかんね。のメッセージをつけてくださいました。  
有り難う 渋谷先生。

### 会計報告

| 月 | 日  | 適用   | 収入     | 支出     | 残高     |
|---|----|------|--------|--------|--------|
| 1 | 20 | 繰り越し |        |        | 4,738  |
|   | 20 | コピー代 |        | 2,600  | 2,138  |
| 1 | 20 | 送料   |        | 10,400 | -8,262 |
| 2 | 6  | カンパ  | 10,000 |        | 1,738  |

いつも沢山のカンパを有り難うございます。

ああ、疲れた。

マイクロソフト ワードで作ったアストロラマ、いかがでしょうか？

苦労の後がにじみでているのでは？

なかなか楽しい機能がいっぱいしていて、すべて使いこなせたらこんな楽しいおもしやはないだろうけど、まだまだ楽しむにはほど遠い。

頑張ってワードを使いこなせるよう、アストロラマで練習しよう。

では、次号をおたのしみに！！

# アストロラマ No.97

発行者 桑原 由紀子 630-01 生駒市上町9-12 TEL 07437-8-1969

1996.8.20

残暑お見舞い申し上げます。暑い日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？O-157でプールは入れない、夏祭りは食べ物屋さん抜き、子供会のキャンプは中止・・・と子どもたちにとっても受難の夏休みとなっている中、我が家沙代子はお陰様で元気で毎日ハンドボールの練習で黒光りするほど見事に日焼けして、小学校最後の夏休みを楽しんでおります。と順調に書いていたところ、

暑さの中の練習がこたえたのか、ヘルペスに罹り、私のお盆休みは、子どもの病院通いとなつた次第です。

お陰で、二人ともゆっくり骨休みができたのですが、近畿大会のための練習を重ねていた沙代子は、本番は応援だけに参加という残念な結果となってしまいました。

そんな沙代子ですが、子育ての一環にと始めた乗馬クラブにもせっせと通い、馬の世話も手慣れたもの。動物が大好きで生き物と一緒にいるときの笑顔といつたら最高の顔を見せてくれます。

そんな彼女だから、犬でも猫でも捨てられると、放っておけなくて自分でポスターを書いて一生懸命飼い主を捜します。今我が家にはそれでも飼い主が見つかなかった迷い犬が家族になっています。子ども一人育てるのに四苦八苦している私としては、とても犬までと思うのですが、子どものうれしそうな笑顔には勝てません。一人っ子の沙代子に心通わせる相手がいて、感情豊かに育ってくれればと願っています。



## パソコン通信いよいよ開通！

一方私はといえば、相変わらず仕事に琴にと忙しい上、いよいよパソコン通信にまで手を出し、ちょっとぴり睡眠不足気味ってところ。美容と健康のためにもしっかり眠りたいし、やりたいこともあるし一日30時間くらい欲しいくらいです。まだ始めたばかりで、パソ通でどんなことができるのか、何をしたいのか、どうやったらしいのか、さっぱりわからない状態。。。でも一つ一つ、勉強していくのは、なかなか楽しいものですね。

ところで、私の NIFTY-Serve ID は RXZ02724 です。どちらか又楽しいメールを下さいね。

まだまだわからないことだらけですが、邦楽仲間でフォーラムを楽しんでいると聞いて、是非仲間に入りたいなと思っています。



## 邦楽奨励会コンサート

今年も又、芸能新報社、前田和男先生主催のコンサートに出演させて頂いた。昨年に続いて2度目。一年の早さに本当に驚く。

今回は、東京からまたま関西に来られていた宮木宏之さんが、このコンサートに寄って下さった。そして、会場に写真を撮りに来ていた宮本敬生さんと一年ぶりの再会。「美保さんと歩こう会」の同窓会（？）の雰囲気でした。

演奏の方は、「彩」を結成した頃の意欲というか勢いが無くなつて無難な演奏になっているという前田先生からの厳しい批評を頂き、私たちメンバー一同も同じことを感じていただけに、これから課題と、この暑さの中、練習に励んでおります。

宮木さんは、「彩」のメンバーともすぐに打ち解けて、「10月のコンサートは絶対くるからね」なんて言って下さり、特別指定席（？）を準備している「彩」です。

お琴を弾いて嬉しかったことをもう一つ・・・

いつもお世話になっている友人が、

「病後で動けない母のためにお琴を聴かせてやって欲しい、コンサートの出前はできないだろうか」と提案してきた。もちろん心優しい親孝行な友人の為に、喜んでお引き受けし、8月の日曜日、お琴を担いで行って来た。お母さんは81歳、いつもは横になっていらっしゃるだろうに、弾いている間、しっかりといすに座って未熟な演奏を聴いて下さった。とっても喜んで下さって、私も嬉しくなり、お元気になられて又お会いできることを願って、お母さん宅を後にしました。

### にわか民宿・・アストロ イン

お盆休みに入る前、大好きな青木千里さんから嬉しい電話が入った。彼女の同僚の友人の娘さんが、夏休みを利用して彼と旅行しているが、関西方面へ行くのにホテルを予約していないという。折しもお盆でホテルはどこも満杯。そこで思い出したのが、我が「アストロ イン」(?)

もし、空いていれば一週間の宿を借りたいとの電話だった。

ちょうどトレイシーたちが帰った後、空き室になっていたので、返事はもちろんOK。12日の夜、フランス人のセバスチャンとローランがやってきた。もう友達の友達は皆友達って感じ。

昨年の今頃は、ドイツへ行っていたんだねって沙代子と話してたところ、今年は外国へは行けなかったものの、お陰で海の向こうの空気が流れてきた。どこにも行く予定のなかった私たちにとって楽しい盆休みが始まった。

お金さえ出せば、豪華なホテルで、至れり尽くせりのサービスを受けられるだろうけど、ここではお金で買えない日本の良さを味わって欲しい。そして、奈良大好き、日本大好きになってくれたらいいと願っている。

滞在は4泊5日と短かかったけれど、京都や奈良見物の合間に、「彩」の練習をきいてもらったり、ATRや高山サイエンスプラザを見学したり、21歳と22歳の学生カップルは、さわやかな笑顔を残して帰った。



## 会計報告

| 月 | 日  | 摘要      | 収入       | 支出    | 残高      |
|---|----|---------|----------|-------|---------|
| 6 | 10 | 繰越      |          |       | 1,738   |
|   | 10 | コピー代    |          | 2,500 | -762    |
|   | 10 | 送料      |          | 9,840 | -10,602 |
|   | 19 | カンパ     | 2,000    |       | -8,602  |
|   |    | 切手 40 枚 | 3,200 円分 |       |         |
|   |    | カンパ     | 10,000   |       | 1,398   |
|   |    | カンパ     | 10,000   |       | 11,398  |
| 7 | 15 | 切手 16 枚 | 1,280 円分 |       |         |
|   | 21 | カンパ     | 20,000   |       | 31,398  |

いつも沢山のカンパを有り難うございます。こんな、暖かい皆様に支えられての、97号発行です。暑さでバテぎみの折り、ちょっとひと休みして・・・ここ生駒の涼風を感じていただけたら嬉しいです。

## ますます大きく京ろまん

私が入社したとき、本店一つだった「京ろまん」。やがて、高の原に「和優館」というお店を出し、今年又、大和高田に「支店」を、新大宮に「本部」と、どんどん大きくなっている。

社長の夢である、「和友館ビル」が建つのももう目の前といった勢いである。ますます忙しい社長だけれど、思い切ったアイデア、素早い行動力には、いつも感心させられる。失敗して叱られたり、ちょっとしたことを褒められたり、泣いたり笑ったりでやっと2年になろうとしている。

仕事も人も趣味も好きになれば、それだけで楽しさ倍増になる。  
しんどいときもあるけど、みんな好きだから、これからも続けてやれるだろう。  
といつも能天気な私は思っている。では、次号をお楽しみに！！

# アストロラマNO.98

発行者 桑原 由紀子 630-01 生駒市上町 9-12 TEL・FAX 07437-8-1969

1996.11.10

秋の夜長、皆様いかがお過ごしでしょうか?  
映画を見るもよし、読書をするもよし・・・と  
そんなこんなを思い浮かべて、やっぱ一緒に語り  
合う相手が欲しいなと思ったり・・・  
パソコン相手に顔の見えない仲間との交流も  
時にはいいけど、顔見てしゃべりたいときもある。  
ふつとそんなことを思うこの頃です。秋ですね。

ちょっと参ります。

10月10日、やっとの思いで、光彩コンサートが終わった。ことで6回目  
だが、毎回これで最後かもと思いながらも頑張ってきた。

お琴は好きなのにだんだん練習が苦痛になってきている。子供に気が向いていなか  
ったのだろう。しっかり症状が現れてきた。パソコンに時間を取られたことも一因  
だろう。思い当たることはいくつかある。がやっぱり気がかりなのは、子供のこと。

気持ちがついていかないのだろう。コンサートが終わったとたん琴に向かえなく  
なった。しばらく休んだ方がいいのかなと思う。頑張っているメンバーと思うと、  
これ以上足引っ張っちゃいけないと思うし、だんだん気持ちが後ろ向きになってい  
くのがわかる。

仕事も2年が過ぎると、パートとは言ってもそれなりに内のことわかつてき、  
責任も重くなる。次々と打ち出される新企画、イベントに追われ会社の成長  
とともに忙しくなってきた。これは投げ出すわけにいかない。幸い、仕事は忙しい  
方が余計なことを考えなくて済むし、救われているかもしれない。

一方、「邦楽アンサンブル彩」のほうも年を重ねるごとに技術的な向上も求めら  
れる。



何もわからず怖い物知らずだった第1回目のコンサートは開けただけで感激ものだ  
った。手放しで喜べた。それが今はお客様の感想、批評の一言一言が、針でさされ  
るようにこたえてしまう。自分で満足できないんだから仕方ないけど・・・  
もっと音を楽しみみたいのに、苦しんでいては何をやっているのかわからない。  
仕事でも趣味でもやらねばならない状態になるとちっとも楽しめない。  
こんなこと考えること事態、少し疲れているのだろう。

ものごとは、すべて思ったようになるという。少し休んでまた歩こう。

## ハイキングへのお誘い

宮脇幸江さんから下記のとおり、ハイキングへのお誘いがありました。アストロ  
ラマに載せて欲しいと原稿を頂いていたのですが、このとおり遅くなってしまいました。

ごめんなさい。末松具子さんからすでに連絡が行ってるかも?

## 記

目的地 はなせ峠（長生き村）・・・日本の懐かしい風景、素朴な人々の暮ら  
しがここにあります。

日時 11月16日（土） 9:30集合

集合場所 京阪電車・出町柳駅・北出口（進行方向）・川端通り（川の側）  
京都バスの乗り場

持ち物 リュックサック・お弁当・水筒・お菓子・果物・新聞紙・ナイロン  
タオル・ティッシュなど

## ===== 当日の予定順路 =====

出町柳（10:00）=====はなせ峠(11:00)====(しっかり歩きます。)  
バス 車窓に鞍馬の山々 下車 周辺の散策 / 昼食

=====別所（上・中・下）===== 広河原=====（いよいよバス停）  
自家製味噌の集落（長生き村） 炭焼きの集落

広河原（17:15）=====出町柳（19:00）  
バス 窓から夕日を見ながら、自然に眠りにおつきください。

歩く距離は長いけれど、楽なコースです。

参加希望者は 0798-63-7233 宮脇 幸江さんまで急いで連絡しましょう。

### ようこそジャニス

マテューの行つた英会話スクールから電話があった。

「こんど新しく来た先生がお部屋を探している。マテューがとてもいい所だと言っていたのを思い出して電話をかけてみたのですが、まだ空いているでしょうか？」

ジャーン！ ラッキー！ もう6ヶ月も空いていたで思わず

「今すぐでもどうぞ」って言ってしまった。相手の方が冷静で、

「じゃ、一度見せて頂いてから」ということで、早速見てもらって入居が決まった。アメリカから来て英語を教えているジャニスとの同居が始まって1ヶ月が過ぎた。

日本に来て3年あまりというジャニスは日本語も大分わかり、日本の暮らしにも慣れていて何の問題もない。忘れかけてた英語と日本語とごちゃまぜの会話で過ごしている。

10月末には、兄の結婚式のため1週間ほど帰り、クリスマスにもまた帰国とまるでそこに行つくるように日本とアメリカを行き来している。

11月にはドイツからジャニスの友達がやってきて2週間滞在。ドイツと言えばペーター、アンネットを思い出す。彼女はなんとペーター達のすぐ近くに住んでいるとか・・・ 初めて会ったのに親戚がきたみたいで、なんとなくなつかしい感じがしている。

### 会計報告

| 月 | 日  | 摘要           | 収入      | 支出     | 高残     |
|---|----|--------------|---------|--------|--------|
| 8 | 20 | 繰越           |         |        | 31,398 |
|   |    | コピー代         |         | 2,600  | 28,798 |
|   |    | 送料           |         | 10,080 | 18,718 |
| 8 | 24 | カンパ          | 5,000   |        | 23,718 |
|   |    | カンパ 切手で80×20 | 1,600円分 |        |        |
|   |    | カンパ          | 2,000   |        | 25,718 |

いつもたくさんのかンパを有り難うございます。

もし、あなたが負けると考へるなら、あなたは負ける。

もし、あなたがもうダメだと考へるなら、あなたはダメになる。

もし、あなたが勝ちたいと思う心の片隅で、ムリだと考へるなら、あなたは絶対勝てない。

もし、あなたが失敗すると考へるなら、あなたは失敗する。

世の中を見てみろ、最後まで成功を願い続けた人だけが成功しているではないか。

すべては「人の心」が決めるのだ。

もし、あなたが勝てると考へるなら、あなたは勝つ。

向上したい、自信をもちたいと、もしあなたが願うなら、あなたはその通りの人になる。

強い人が勝つとも限らない。すばしこい人が勝つとも限らない。

私はできる、そう考へている人が結局は勝つのだ。

ナポレオン・ヒル

いま、「脳内革命」の本が売れているとか・・・

わたしの勤めている「京ろまん」の社長も、とても前向きなものの見方をする方で、いつも社長の話を聞く度に自信と勇気を与えてもらっているような気がする。

上の言葉も社長に教えて頂いたものだが、毎日唱えていると元気がわいてくる。

今回のように落ち込んだ時こそ、自分自身を勇気づけなくちゃと書いてみた。

あの手この手で自分を励ますしかない。ある友人が、「ええー、いつも元氣で脳天気なあなたも落ち込むことあるの」ってでも、安心したみたいに、受け入れてくれた。子供を持つ親ってみんな同じようになやんでいるのよ、なんてなぐさめてくれる。

98号では、ちょっと弱音をはいたゆっこでした。そんな時もあるさとお許し下さい。

では、次号をお楽しみに！！



# アストロラマNo.99

発行者 桑原由紀子 630-01 生駒市上町9-12 TEL.FAX 07437-8-1969

梅に桜、あちこちから花のたよりが聞かれる  
弥生3月、皆様にはいかがお過ごしでしょうか?  
100号まであと一歩というところで、なかなか  
発行できないアストロラマです。

世の中、相変わらず暗いニュースばかり、日本海の  
重油流出事故、リマの日本大使館公邸占拠事件など  
なかなか解決できないことばかり・・・

そんな中での我が家のかなやかな明るいニュースは  
登校拒否になりかけた沙代子が最近随分明るくなつたこと。もうすぐ小学校を卒業して  
中学生になること。二人とも風邪もひかず元気なこと。落ち込んでいた私も少しづつ  
浮上してきたことなどなど・・・かな。

昨年の秋以来、お琴もひけなくなつていて私のところに、以前お世話になった  
あすかの保育園の園長先生から

「地元のお年寄りをあつめて、健康の集いをやるんだけど、オープニングにお琴を弾いてほしいんです。」とのこと。

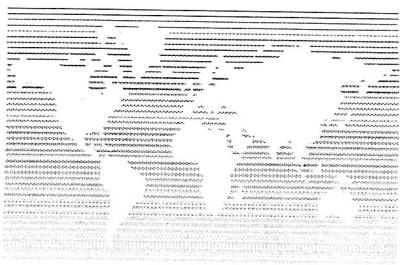
誰かに喜んでいただけるのなら頑張ってみようかと、友人の助けを借りて弾かせてもらつた。そのとき、たまたま聴いていたお客様が

「昔少しやったことがあるんだけど、近くだから教えてほしい。」  
ということで、今月に何度か稽古にみえている。

稽古とはいっても、人生の先輩の話をきいたり、おしゃべりしながらティータイム楽しんだり、少しお琴にさわったりと、のんびりしたものでした。

また、6年生までお世話になった真弓学童でも、これから子供達希望者にお琴を教えて  
あげたいなと考えているところです。こんな気持ちになつたのも、少しは私の心境が  
良くなつたのでしょうね。練習練習に明け暮れていた頃も時間の過ぎるのが早く感じ  
られたけど、まったくさわらなかつた5ヶ月間もあつと言う間に過ぎちゃつた。

何をやっていてもまったく時の過ぎるのは早い早い。



1997.3.10

## 超嬉しいお手紙

西宮市の小林節美さまから

昨年いただいたものですが、嬉しかったので紹介させてくださいね。

いつもアストロラマをお送りいただき、本当にありがとうございます。  
一度お目にかかるだけの由紀子さんですが、アストロラマを拝見することで、いつもいろんなことに前向きで生き生きと一生懸命人生を生き抜いていらっしゃる様子がひしひしと伝わり一方的ではありますが、面と向かってお話をしているような気がしたり、とても勇気や気力を与えられたり、考えさせられたりで、お忙しい中大変だなと思いつつも心待ちにして拝見しています。

私は、長年の教職を退職し、今は長年いろんなことに拘束されていた事から解放され、自由奔放に好きなことをして暮らしていますが、バチが当たるといけないのでボランティア活動でもと思っているところに、そういう大会があることを知り、行ってきました。

卓球の体験コーナーで、はじめてやってみてこれなら少しずつ勉強して、私にもできるかなと少しづくづくした気分でやる気を感じはじめている所です。何か人様のお役に立つことができればと思っています。今は、コーラスと編み物をしていますが、健康維持のためのスポーツもしたいし、絵もかきたいし、英会話もしたい・・・という近況です。

小林 节美

ということで、節美さんどうもありがとうございました。

誰かが、どこかでこんな風に待つて下さつて思うと、ついいつ、いろんなことを書いて送りたくなる単純ゆっこでーす。

“人様のお役に立ちたい”・・・みんな持っているんですよね。こんな優しい心。  
いくら振りまいても決してカラッポになつたりしない。イヤ益々湧いてくると思いませんか?ときどき出てくる親切の押し売りってのも困るけどそこは、人と人、仲良しを深めていい関係作りたいものです。

先日もパソ通で、重油で困っている人たちに何ができるかとか、こんなことして欲しいとか出していましたが、出かけて行かなくてもここでできる事もあるんですね。

できることからやってみよう！！

## 美保さんからも写真と切り抜き

いつも生きるパワーを下さる美保さんこと、杉原美保子さんから、硬さんとツーショットの写真と新聞への投稿記事の切り抜きが届きました。美保さんどうも有り難う。

素敵なご主人の側で、とろけそうな笑顔の美保さん・・・まったくウラヤマシイ！！  
ごちそうさまでした。ところで、切り抜きを紹介させて下さいね。

米国ボストンに住んでいた時の事です。スーパーマーケットの出入口の所に古い木製の本棚があつて、そこに沢山の古い本が並んでいました。友人は買い物ついでに目を通しては、読みたい本があると自宅へ持ち帰るのです。「読み終わったらまたここへ戻すのよ」と言って。不要な本を置く人もあってよく利用していました。

海岸の別荘地ケープコッドへ家主に招かれた時、そこに掘っ立て小屋があつて、「本・雑誌の交換所・・・デニス町リサイクル委員会」と看板が出ています。別荘族が読み終わった本を置き、手持ちぶさたな人が読みたい本をもらって帰るのです。

不要になつた本が生かされているのをみて、なんとすばらしいことだらうと、大きな感銘をうけました。

すぎはら みほこ

必要でない物が必要とするところに自然とまわっていく・・・こんな流れがスムーズにできるといいですね。うちでもいらなくなつた本や、子供服を学童にもつていったり、古い楽器(琴)をもらってきて、子どもたちの遊び用に使つたりと、お金かけないで、物を最後まで生かして使い切る。そんなことを心がけています。そんな情報も盛んですね。



## 会計報告

| 月  | 日  | 摘要    | 収入    | 支出    | 残高     |
|----|----|-------|-------|-------|--------|
| 11 | 10 | 繰越    |       |       | 25,718 |
| 11 | 10 | コピーディ |       | 2,500 | 23,218 |
| 11 | 10 | 送料    |       | 9,840 | 13,378 |
| 11 | 18 | カンパ   | 2,000 |       | 15,378 |
| 12 | 2  | カンパ   | 2,000 |       | 17,378 |

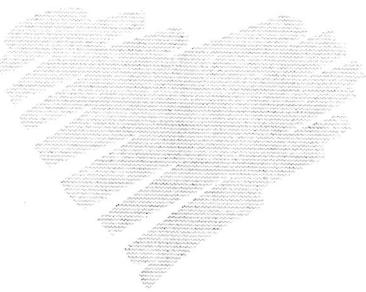
いつもカンパを有り難うございます。

さて、アストロラマによく登場してくださる、中村裕子さんからエッセイが届いておりますので、紹介させていただきます。

## 病室のファッションショー

兵庫女子短期大学

講師 中村 裕子



庭先の枯れかけた鉢植えに、一本の茎が伸びてきて、ある日真っ白な彼岸花をぱッと咲かせた。母が亡くなつて間もない時のことである。入院した時は、肺ガンの末期症状で、あと2ヶ月の命と私たちには告げられたが、母は当時、胆石と聞かされ、完治して帰宅できるものと信じて疑わなかった。しかし癌魔は次第に母を蝕みはじめ、好きなものも食べられなくなり、髪を自分で結えなくなつてくると、さすがに母も気が付いたようであった。

丁度亡くなる3週間前のことであった。そして、「みんなの行く末も見だし、いい思いもさせてもらった。有り難う」と言って年賀状を取り寄せ、自分の葬式の通知を出す人を選んだ。私たちは人生について淡々と話し合つた。

日帰りの予定で見舞いに行つたある日、母の症状から二・三日泊まるうことになり、着替えに母の服を借りたいと尋ねると、「いいわ、着てみせて」と嬉しそうに答えた。

そこで、妹と私は、それぞれ母の服を選び病室でファッションショーをすることにした。母はちどりと器用な人で、娘たちのウェディングドレスと自分で縫つた程の洋裁の腕があり、「妻を働かせるのは、男の沾濡にかかる」という父と子どもたちの世話がなければ、プロのデザイナーになれたかもしれないかったのである。

その母がクラス会でお芝居に行く時のために樂しまながら縫つた服を、私と妹は病室の風呂場で着替え、かわるがわる「これはいいかがでしょ？」と母のベットの前をゆっくりとモデルのように気取つて歩いて見せた。

「そこにブローチを付けた方がいいわ」「うん、なかなかよく似合う」「そのスカーフとあしらつて・・・」と母は横になつたまま、微笑みながら声をかけた。

そこへいた付き添いの方も「いいですね、素敵ですよ。長年この仕事をしていますけど、こんなことは初めてです」と一緒に喜んでくれた。

2日間のショードが終わると母は「余は満足じゃ」とおどけてみせた。それからアクセサリー類も「これはお嫁さん、これは孫達」と分け与えてくれたので、皆はそれを付けて母を見舞う日もあつた。

その後、容態が急に悪くなり、かすかな声で、「ありがとうございます」と言いながら母は逝った。

入院して11ヶ月目であった。残された光明な日記には、葬式の段取り、お世話になつた病院の皆さんに対する感謝の言葉、そして辞世の句が書かれてあつた。

木もれ陽に ずっと立ち入り 彼岸花

お母様のご冥福をお祈りします。合掌

では次号をお楽しみに。

# アストロラマNo.100

発行者 桑原由紀子 630-01 生駒市上町9-12 TEL/FAX 07437-8-1969

1997.5.20

大好きなあなたへ愛をこめて・・・

こんな気持ちで送り続けた「アストロラマ」

ついに大台100号となりました。

愛は育てるもの？なんて聞いたことがあるけど  
はじめは単なる同窓会会報だったのが、だんだん  
こんな愛メールになっていったのは、私の中の愛が  
大きく成長したのかも？？ 大好きな人がどんどん  
増えていき、あの人にもこの人にもと広がる一方です。

この100号を読んで下さってるあなた。これから  
も愛メールを送り続けたいと思ってますので、改めてどうぞよろしくおつきあい  
下さいませ。

私の勤め先の「京ろまん」でも、創業11年目を迎え、新たに初心に返る思い  
で一（はじめ）の市を開催します。常に前進あるのみの私も、時には、はじめ  
の気持ちを思い起こしながら、いつも新しい心で前進したいものと思うこの頃です。

最近出会ったすてきな方に「アストロラマ」を見せたところ、是非読んでみたい  
と言ふことでお貸しました。そしたら、こんな嬉しいラブレターがついて  
戻ってきました。

老若男女を問わず、国籍も問わずに人として受け入れ、認め  
認められて、人の和をつないでいかれる由紀子さん、どうして  
こんなにいろいろのか、大きいのか！ってギモンを持ちながら  
ズッシリ重い「アストロラマ集」を小脇に抱えてさよならして・・・  
2~3日バタバタと雑用に追われていてやっと土曜の夜、  
「アストロラマ」を読ませていただきました。一息に99号まで・・・



読後、あまりのショックに、これ又2~3日ボーっとして、  
“早くお返しせねば”と思いつつ、この感動をどう書いていいのかで、  
又日が過ぎてしまいました。

『スゴイ』『ワ、ステキ』『やるう』『お見事』  
『へえっ』『あっそう』『なんと！』『よかったです』  
出るは感嘆詞ばかり・・・

それでお願ひ！100号から「アストロラマ」の読者にさせて！

ちょっと褒めすぎ？でも嬉しかった。こんな感じであすか野保育園の園長先生  
がアストロラマファンになって下さいました。

先生！身に余るお褒めの言葉をどうも有り難うございました。

## 私が友人の人生を変えた？

友人いわく、「貴方のお陰で私の人生が大きく変わったのよ。いつも感謝して  
ます。」・・・なんて嬉しい言葉に

「何をしたかしらん？」と驚いた。聞けば、私の家の一つの出会いが  
彼女を動かしたようです。活き活きと輝いてる彼女を見て、嬉しくなり、  
私にできることは無いかしらと考えました。「そうだ！彼女のメッセージを  
アストロラマで紹介しよう！」と思った次第です。

アジア協会アジア友の会への申込者を募っています。

平成3年の5月、友人宅にて、仕事を辞めアジアヘボランティア  
で井戸を掘りに行った方に会って、子供達が一日がかりで水を汲んで運んでいる話を聞きました。自分が少しでも協力できたらと思  
い「アジアに井戸をおくる会」に入れてもらいました。

その後、NHKで、唐招提寺も井戸100基を送る事を目標にアジア  
友の会に関わっておられることになりました。

それまでは、一個人として参加していれば良いと思っていた  
が、これからは一人でも多くの方に協力してもらえるようなど、話を  
聞いてもらえる機会をつくるよう頑張っています。

大人は年額一回¥6,000ですが、子供達にも是非、自分のお小遣いから募金に協力してもらい、アジアの子供たちに目を向けて欲しいと思  
っています。これは年額一回¥1,000です。どうぞ、節約してご協力ください。

3歳で引き揚げをした私は、栄養失調で、落ちているものを拾つて食べていたようです。小、中学校の時は朝晩、七輪に火をおこすのと、一日何回も井戸から水を運ぶのが仕事でした。

今、アジアには井戸も学校もないところがたくさんあります。そこへの募金をお願いしたくてこの文を書きました。わずかの募金がアジアの人たちのそして子供たちの命を、生活を助けることができます。

これからも、私は、食べる物を大切にして、地球の未来と思い、平和について考えながら生きていきたいと思っています。

協力して下さる方・お話をしたい方は、

07437-9-1343 奈良千代までご連絡下さい。

太陽・空気・水・愛・教育・・・

生きていいく元だと思います。

ということで、皆様どうぞよろしくお願ひいたします。

私の家に集まったのは、「美保さんと歩こう会」が雨で中止になり、急遽うちでおしゃべりになったときのことでした。

さて、その美保さんから、次の歩こう会の企画が届きましたのでお知らせします。

とき・・・10月4日（土）

集合場所・・・a JR六甲道改札出口に10:00

b 阪急六甲改札出口に10:20ごろ

コース・・・六甲ケーブル下→あぶらこぶし道→

ケーブル駅→極楽茶屋→阪急芦屋川

いつも新しい出会いがある「美保さんと歩こう会」、人生が変わるような出会いがあるかも？ どなたか幹事さんお願ひ！！

とりあえず連絡先は、0474-61-1373 杉原美保子または、

07437-8-1969 桑原由紀子まで。

#### 会計報告

| 月 | 日  | 摘要     | 収入    | 支出     | 残高     |
|---|----|--------|-------|--------|--------|
| 3 | 10 | 繰越     |       |        | 17,378 |
|   | 10 | コピー・送料 |       | 12,500 | 4,878  |
| 5 | 4  | カンパ    | 5,000 |        | 9,878  |
|   | 16 | カンパ    | 2,000 |        | 11,878 |

#### パソコン通信での出会い

最後に顔の見えないパソコン通信で出会った?「しじゅうから」さんを紹介したいと思います。

友人が薦めてくれた一冊の本『ほんとうの時代』(PHP研究所発行)を読んでいます。初めて読んだとき、とても生きる力が湧いたような読後感があり、それを誰かに伝えたかった。ちょうどパソコン通信も面白くなってきたこともあって、本の中に「しじゅうから」さんのIDナンバーを見つけた私は早速メールを送ってみました。それが、初めての出会い?

もう半年くらいになるかな?メールが行ったり来たり・・・で例のごとく「アストロラマ」も読んで欲しくなり、送らせていただいたところ、以下のような感想メールが届きました。

点字を体験された小林さんに:点訳絵本をやっている岩田美津子さの「ふれあい文庫」応援団をやっております。昨年は世界初の触れる絵本を出版するささやかなお手伝いをしました。

本のリサイクルについて書かれたとろけそなすぎはらさんへ:ホントに本でも何でも読み捨て使い捨てにしないで、いのちを全うしてやりたいものです。私め、アジア図書館の会員になっています。

不要な図書を寄付して貰い、その中からアジア関係の本は一冊残して、それ以外は安く売る。その資金で「アジア図書館」を建設。中国にも最近分館ができました。アジア各国語の教室も開催中。

中村さんのご母堂への文章というより、生き方が素晴らしいなあと思いました。私も自分の終末をどうするかと、一度は考えなくてはならん年代になりました。そして、また、元気に、楽しく過ごしていくべエ。

最後に、桑原さんに:私も「しじゅうから&かわせみ交響楽談」という「バカメール」を毎月100通ばかり発行していましたが、忙しくなったのと、経費がバカにならないこと等々でただ今「きゅうかんちょう」デス。しじゅうからさん、楽しい感想メールをどうも有り難うございました。これでしっかりアストロ仲間ですね。今後ともよろしくお願ひ申しあげます。

それぞれの感想をきれいに三行にまとめて・・・よほど書くことの達人とお見受けしました。脱帽!! 素敵な出会いを載せて100号をお届けしました。では、次号をお楽しみに!